

# ニセ電話詐欺阻止状況と被害状況(平成30年中)

## 【ニセ電話気づかせ隊加入状況】

参加団体数 **11,335団体**      参加人数 **34万7,185人**

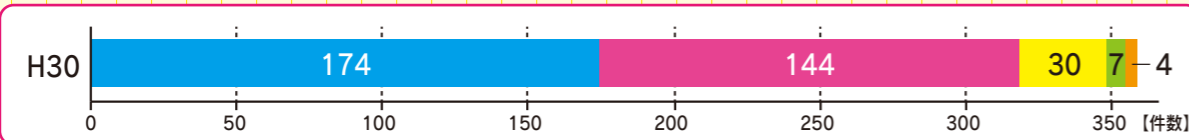
## 【被害阻止状況】

被害阻止件数 **617件**      被害阻止額 **4億1,040万円**

## 【認知件数と被害額】

認知件数 **359件**      被害額 **6億6,745万円**

## 【認知件数の内訳】



# ニセ電話詐欺(手口別)の特徴と対策

## 架空請求詐欺

【実例】被害者の携帯電話に「未納料金がある」とのメールが届いたので、メールに書かれた電話番号に連絡すると未納分を電子マネーカードで支払うように指示されました。コンビニで電子マネーカードを購入してカード番号を伝え、購入額分の利用権をだましとられました。

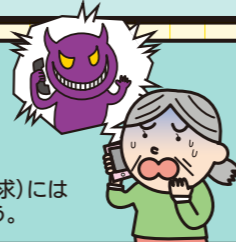


### ■特徴

- 被害のきっかけは「携帯電話へのメール」が約8割。
- 幅広い年齢層が被害に遭っています。

### ■対策

- メールに書かれた連絡先に電話したり、メールに返信したりしてはいけません。
- 身に覚えのないメール(請求)には応じないようにしましょう。



## オレオレ詐欺

【実例①】被害者宅の固定電話に息子の実名を名乗る男から「会社の金を使って投資した。」「返さないといけないので、お金を用意して。」と言われました。お金を用意し、息子を名乗る男に連絡したところ、A店で息子の代理を名乗る男に手渡すよう指示され、現金をだまし取られました。



【実例②】被害者宅の固定電話に警察官を名乗る者から「キャッシュカードが不正に利用されているので、カードを確認する必要があります。」と言われ、自宅を訪れた警察官を名乗る者にキャッシュカードをだまし取られました。

### ■特徴

- 被害のきっかけは「固定電話への電話」が9割。
- 被害者の約9割が65歳以上の高齢者。
- 親族を名乗り、現金をだまし取る手口は依然として発生。
- 警察官や百貨店を名乗ってキャッシュカードを受け取る手口が増加。



### ■対策

- 「電話番号が変わった」と言われても、元々知っていた親族の電話番号に連絡して確認しましょう。
- 見知らぬ人に現金や通帳・キャッシュカードを渡したり、暗証番号などの個人情報を教えたりしてはいけません。



**電話でお金はすべて詐欺！すぐに相談・110番！**



## 【ニセ電話詐欺の被害から家族を守るPOINT】

### POINT①

家族とこまめに連絡を取り合みましょう。

日頃から両親や祖父母と連絡を取り合い、ニセ電話詐欺への注意を呼びかけておきましょう。

### POINT②

家族間で「合言葉」を決めましょう。

電話の相手が本当の家族か確認するために「合言葉」を決めたり、家族にしか答えられない質問をしたり、ニセ電話詐欺に備えましょう。

### POINT③

ニセ電話詐欺被害防止機器を活用しましょう。

ニセ電話詐欺の被害防止に効果的な機能がついた電話機に取り替えましょう。両親や祖父母にプレゼントして、被害を防止しましょう。

Check!!

HKT48による特別動画はこちら



# ニセ電話詐欺被害防止機器が効果的

ニセ電話詐欺の被害防止に有効な電話機や電話機に接続する機器は家電販売店で購入できます。

## 着信拒否

迷惑電話番号リストの電話番号を自動で着信拒否

着信拒否

録音開始

## 自動録音

いざという時のために通話を開始すると自動録音



## 事前警告

通話相手に会話の内容を録音することを事前警告

録音しています

ご注意ください

## 注意喚起

電話に出る前にアナウンスで迷惑電話の注意喚起

使用者の98%が被害防止に効果があると回答しています。(平成28年福岡県警調べ)

# 『まったくんコール』のご案内

福岡県警では、民間事業者に委託して県民の皆様へ電話で、ニセ電話詐欺の多発している手口や対処方法をお知らせする事業(通称「まったくんコール」)を実施しています。

はやく 110番！  
**0120-89-1101**

●期間：平成30年6月26日～平成31年3月22日(土・日・祝日・年末年始を除く)  
●受付時間：午前9時00分～午後5時00分

※口座の暗証番号等の個人情報を尋ねることはありません。

